

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 集会案内 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

礼拝(第一) 毎日曜日 8:00~9:00AM ソーシャルホール
 (第二) 毎日曜日 9:00~10:15AM (夕拝) 7:00~8:00PM
 教会学校(子供、成人、ヤング) 毎日曜日 11:00~11:45AM 分級クラスルーム
 「境界線の学び」クラス 第三と第五日曜日 1:00PM~3:00P 会議室
 水曜集会 毎水曜日 ①10:00AM ②7:00PM (ZOOM オンラインのみ)

前週集会	第一礼拝	第二礼拝	夕拝	礼拝合計	子供礼拝
	-	-	-	-	

風の吹くままに

本日は、ホノルル・キリスト教会にインターンシップで奉仕してくださっている今村マークさんのメッセージです。みことばを待ち望みつつ、今日も最高の礼拝を主におさげしましょう。

教会の様々な働きに携わってくださっているマークさんご家族の存在を心から感謝いたします。このご家族を覚えて、皆さまにもぜひ、お祈りいただけたら感謝です。

私たちのビザが、13日月曜日におりました。「いつか、その日が…」とは、思っておりましたが、今は「ついに、その日が…」という気持ちです。とにかく今は、限られた残りのホノルル教会での日々を心いっぱい仕え、全うさせていただきたい気持ちでいっぱいです。

どうぞ今後とも、主にあって、よろしくお願いいたします。

高木牧人牧師

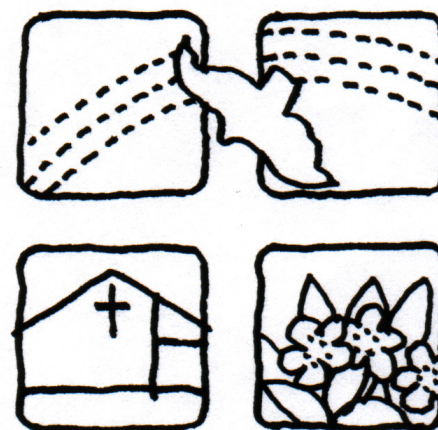
当教会は、正統的なプロテスタント教会です。エホバの証人、モルモン教、統一教会とは一切関係がありません。カルトや宗教問題でお困りの方はご相談ください。

わたし自身、あなたがたのために立てている計画をよく知っている——主のことば——。それはわざわいではなく平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。

エレミヤ書 29章11節

週報

2021年9月19日 Vol.18 No.37



主にあっていつも喜んでいなさい。

HONOLULU CHRISTIAN CHURCH

ホノルル・キリスト教会

2207 OAHU AVENUE HONOLULU, HI 96822

事務局 973-4335 緊急 277-5849 or 219-4349

E-mail: インフォメーションセンター hccinfo2207@gmail.com

事務局 office@honoluluchristian.church

関真士牧師 sekishinji89@gmail.com

Homepage: <https://honoluluchristian.church/>

2021 年 9 月 19 日 8:45am

礼拝開始5分前からは、心を静める時間です。他の方の祈り、
黙想の妨げにならぬよう席に着きましょう。

前 奏 賛 美 挨 拶
Overture & Worship & Welcome
御手の中で
「私たちは一つ」
真昼のように
栄光イエスにあれ

献 金 祈 祷
Offering Prayer

宣教支援献金

証 詞
Testimony 「福音を伝えるために、神様はあなたを呼んでいる！」
今村マーク インターン生

賛 美
Worship Song 誰かのためにあなたは生まれた

頌 栄 主 の 祈 り
Doxology & The Lord's Prayer

報 告
Announcement

- 報 Announcement 告 -

- ✠ ホノルル教会は現在、朝 8 時 45 分から会堂とオンラインで礼拝を行なっています。
- ✠ 礼拝の献金は、会堂にある献金箱に入れるか、オンライン献金をご利用いただくか、チェックを教会に郵送してください。
- ✠ **高木牧師夫妻のピザがおりました。ホノルル教会での働きは、10/24 が最後となります。**
- ✠ **関牧師（サバティカル休暇 8/30～9/27）**
- ✠ **教会はセキュリティシステムが稼働しています。平日、建物を出入りされる際はご注意ください。**
- ✠ OMS 北米ホーリネス教団の創立「100 周年記念誌」が 発刊されています。購入希望の方は、教会まで 〆 〆 連絡ください。一冊\$29(税、送料込み)で 〆 〆 。
- ✠ 今週水曜日、ZOOM-祈祷会 10am
- ✠ 平日、教会建物を利用される方は、973-4345（ナンシー）まで連絡をしてください。
- ✠ 教会ウィークリーニュースは、毎週月曜日に配信されます。メールをチェックしてください。

●スモールグループの心得

心を傾けて聴こう、理解しよう、共感しよう。教えない、否定しない、批判しない。そのままを受け入れよう。

今日の証詞 「福音を伝えるために、神様はあなたを呼んでいる！」 今村マーク インターン生
次週のメッセージ 高木牧人牧師

●分かち合いのポイント

- ① D.L. Moody said: “Life is filled with glorious opportunities brilliantly disguised as insurmountable problems.” Do you feel encouraged knowing that God is with you even in your times of trouble? Do you have any examples of God turning troubles into blessings in your life?

D.L. ムーディは、言いました。「人生には、乗り越えることの困難な問題があるが、同時に輝かしいチャンスにも満ちている。」 困難な時にも神様が共におられることを知って、あなたはどのように励まされますか？また、あなたの人生において、これまで神様が問題を祝福に変えてくださった例はありますか？

- ② Many Christians preach the true Gospel to get rich. How do you feel about this? Do you believe God can work through people with bad intentions? What does God’s Word say about this matter?

多くのクリスチャンは、本当の良き知らせ（福音）は富を得ることだと説いています。これについてどう思いますか？神様は悪意のある人にも働きかけることができると思いますか？このことについて、神のことばは何と言っていますか？

- ③ What is an individual disciple’s role in the Great Commission? Jesus commands all his disciples to share the Gospel. Do you consider yourself a disciple? What will you do as a disciple of Jesus? Can you begin today?

大宣教命令における弟子たちそれぞれの役割は何ですか？ イエス様は、すべての弟子に福音を伝えるように命じられています。あなたは自分が弟子だと思いますか？あなたはイエスの弟子として何をしますか？今日から何を始められますか？

●詩篇 18 篇 30 節

神 その道は完全。主のことばは純粹。主は すべて主に身を避ける者の盾。

●Psalm 18:30

This God—his way is perfect; the word of the Lord proves true; he is a shield for all those who take refuge in him.

ピリピ人への手紙 1章 12～18 節

さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったことを知ってほしいのです。私がキリストのゆえに投獄されていることが、親衛隊の全員と、ほかのすべての人たちに明らかになり、兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことで、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆にみことばを語るようになりました。

人々の中には、ねたみや争いからキリストを宣べ伝える者もありますが、善意からする者もあります。ある人たちは、私が福音を弁証するために立てられていることを知り、愛をもってキリストを伝えています

が、ほかの人たちは党派心からキリストを宣べ伝えており、純粋な動機からではありません。鎖につながれている私をさらに苦しめるつもりなのです。

しかし、それが何だというのでしょうか。見せかけであれ、真実であれ、あらゆる仕方でキリストが宣べ伝えられているのですから、私はそのことを喜んでいます。そうです。これからも喜ぶでしょう。

Philippians 1:12

I want you to know, brothers, that what has happened to me has really served to advance the gospel, so that it has become known throughout the whole imperial guard and to all the rest that my imprisonment is for Christ. And most of the brothers, having become confident in the Lord by my imprisonment, are much more bold to speak the word without fear.

Some indeed preach Christ from envy and rivalry, but others from good will. The latter do it out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel. The former proclaim Christ out of selfish ambition, not sincerely but thinking to afflict me in my imprisonment. What then? Only that in every way, whether in pretense or in truth, Christ is proclaimed, and in that I rejoice.